

ナビゲーション・ロールオーバー練習

CSS ナビ1（画像置換）

MENU1	MENU2	MENU3	MENU4	MENU5
-------	-------	-------	-------	-------

特徴（長所・短所）

- ボタン画像は<a>タグの背景として表示。
- それぞれのボタン用に、idかclassで個別の名前の設定が必要。
- <a>タグ内の文字は、高さを0にしオーバーフロー非表示設定で、文字自体を非表示にする。
- ボタン画像は高さの変わりに余白（上方向）を設定し、その余白部分に背景として表示される。
- メニュー名の変更があった場合、画像を作成し直す必要がある（メンテナンス性は低いが、比較的綺麗なパーツが作成可能）。
- ロールオーバー時に背景画像を切り替える（閲覧環境によってはチラつく事もアリ）。
- スタイルシートオフ時は、文字だけが表示される。
- スタイルシートオン・画像非表示の場合、ナビゲーションは消えます（視認不可）。
- 印刷時、ブラウザで『背景を印刷』の設定をしていないと何も印刷されません。

CSS ナビ2（背景画像と文字の組み合わせ）

MENU1	MENU2	MENU3	MENU4	MENU5
-------	-------	-------	-------	-------

特徴（長所・短所）

- ボタンの画像は<a>タグの背景として表示。
- html内の文字は、そのまま表示に使用（文字はCSSで設定しているフォントに依存）。
- メニュー名の変更があった場合、修正が容易（html内のテキストを変更するだけ）。
- メニュー内の文字は、cssで設定しているフォントに依存（特殊なフォントは使用出来ない）。
※但しCSSでWebフォントを使用している場合は、そのフォントで表示が可能。
- ロールオーバー時に、背景画像を切り替える。
- スタイルシートオフ時は、文字だけが表示される。
- スタイルシートオン・画像非表示の場合でも、htmlテキストを使用しているためナビとしての機能は特に問題ナシ。
- 画像非表示の場合、背景色と文字色が近似色だと視認性が悪くなる、または同色だと視認できない点に注意。
- 印刷時、ブラウザで『背景を印刷』の設定をしていないと文字だけしか印刷されません。

CSS ナビ3（CSSのみ）

MENU1	MENU2	MENU3	MENU4	MENU5
-------	-------	-------	-------	-------

特徴（長所・短所）

- ボタンの表現は全てCSSで設定し、画像を一切使用していない。
- html内の文字は、そのまま表示に使用（文字はCSSで設定しているフォントに依存）。
- メニュー名の変更があった場合、修正が容易（html内のテキストを変更するだけ）。
- メニュー内の文字は、cssで設定しているフォントに依存（特殊なフォントは使用出来ない）。
※但しCSSでWebフォントを使用している場合は、そのフォントで表示が可能。
- ロールオーバー時も、CSSで指定した表示設定が有効。
- CSS3を使用している為、未対応の旧ブラウザでは表示がされない、または簡略化表示される。
- 未対応のブラウザ用に、背景色はグラデーションの他、単色の背景色も併記しておく。
- CSS3のグラデーション設定を使用（ { background-image:linear-gradient(開始位置, rgb色 位置, rgb色 位置); } ）。
- スタイルシートオフ時は、文字だけが表示される。
- スタイルシートオン・画像非表示の場合でも、htmlテキストとCSSで表現しているためナビとしての機能は特に問題ナシ。
- 印刷時、ブラウザで『背景を印刷』の設定をしていないと文字とボーダーだけが印刷されます。

CSS ナビ4（画像の非表示）

MENU1	MENU2	MENU3	MENU4	MENU5
-------	-------	-------	-------	-------

特徴（長所・短所）

- ボタンの画像はタグで表示。
- それぞれのボタン用に、タグにidかclassで個別の名前の設定が必要。
- メニュー名の変更があった場合、画像を作成し直す必要がある（メンテナンス性は低いが、比較的綺麗なパーツが作成可能）。
- ロールオーバー時、で配置されている画像を非表示（透明）にし、あらかじめタグに設定してある背景画像を表示。
- スタイルシートオフ時も、画像が表示される。
- 画像を非表示設定してある環境では、タグのalt属性の値である文字が表示される。
- 画像が非表示設定時のロールオーバーは、ボタンの視認不可。
- 画像で作成された部分は問題なく印刷されます。

その他のナビ（javascript）

MENU1	MENU2	MENU3	MENU4	MENU5
-------	-------	-------	-------	-------

レイアウト自体はCSSで行い、ロールオーバーだけはJavascriptで行う方法もあります。

今回上記で1例として使用しているJavascriptファイルは『[alphafilter.js](#)』というもので、ロールオーバーさせたい画像のタグにclass属性で"btn"というclass名を設定すると動作するものになります。

特徴（長所・短所）

- 使用出来るJavascriptが豊富に配布されている。
- scriptの開発・配布者によって作りがそれぞれ違うため、各scriptの仕様に合わせて実装する必要がある。
- 実装・組み込みが容易な事が多い。
- 細かいCSSの設定が不要。
- メニュー名の変更があった場合、画像を作成し直す必要がある（メンテナンス性は低いが、比較的綺麗なパーツが作成可能）。
- ロールオーバーの設定方法が、各配布Javascriptによって違う（ファイル名の指定や、組み込み方法など）。
- cssがオフでも、ロールオーバーは動作します。
- 閲覧環境でJavascriptがオフになっていると動作しない。
- 複数のJavascriptを組み込むと、各scriptが競合して動かなくなる可能性がある。
- 画像で作成された部分は問題なく印刷されます。

その他補足

今回の作成例は主要な物を挙げた例になります。

Javascriptライブラリである[jQuery](#)とCSSを組み合わせたナビゲーション&ロールオーバー設定もあります。

他には、CSS3だけを使用したアニメーションの設定もあり、様々な表現が出来る様にもなっています。

特徴（長所・短所）

- jQueryはJavascriptを使用していますので、閲覧環境でJavascriptがオフになっていると動作しない。
- CSS3を使用した場合、ブラウザが対応していないと期待通りの表現が出来ない点に注意（特にIE）。

機能別特徴一覧表

	画像/CSS・ON	画像・ON/CSS・OFF	画像・OFF/CSS・ON	画像/CSS・OFF	印刷
ナビ1	○ 通常動作	テキスト表示 ロールオーバーしない	目視不可	テキスト表示 ロールオーバーしない	×
ナビ2	○ 通常動作	テキスト表示 ロールオーバーしない	画像のみ非表示 ロールオーバーする	テキスト表示 ロールオーバーしない	△
ナビ3	△ 通常動作	テキスト表示 ロールオーバーしない	△ 通常動作	テキスト表示 ロールオーバーしない	△
ナビ4	○ 通常動作	画像表示 ロールオーバーしない	imgのalt属性の文字が表示 ロールオーバー時の画像が非表示	imgのalt属性の文字が表示 ロールオーバーしない	○
jsナビ	○ 通常動作	画像表示 ロールオーバーする	imgのalt属性の文字が表示 ロールオーバー動作は各jsによる	imgのalt属性の文字が表示 ロールオーバー動作は各jsによる	○

※1 ナビ3は、対応していない旧ブラウザでは指定通りに表示が出来ない、もしくは簡略化された表示になります。

※2 jsナビは、javascriptがオフだとロールオーバーしません。

逆にjavascriptがオンだと、cssがオフでもロールオーバーします。

cssでロールオーバー設定した場合は、javascriptがオンでもオフでも関係なくロールオーバーします。